

○農地利用状況調査を踏まえた意見交換

(京都府船井郡京丹波町和知地区連絡会議)(第4回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(地域内の課題とス
ローガンの設定)

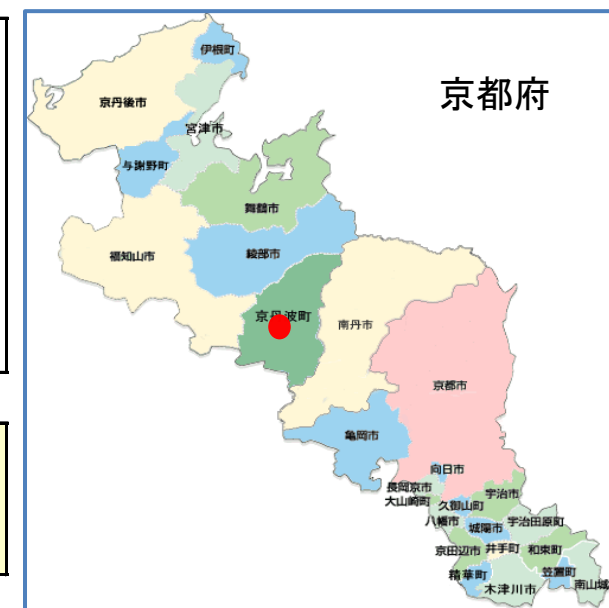
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年9月17日
- 場 所: 京丹波町林業センター
- 出席者: 農業委員・最適化推進委員10人
- 報告者: 塩 貝 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 京丹波町の木阿川に位置し国道27号が縦貫しており、綾部、舞鶴、福井方面への幹線道路
- 農耕地の殆んどが中山間農地でほ場整備はされているが一戸当たりの経営規模は小さい
- 丹波黒大豆、丹波くりの生産地である



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

○和知地区農地利用状況調査結果について報告

- ・平成18年の豪雨災害による農地の復旧は進んでいるが、耕作の再開に至っていない
- ・各地区とも遊休農地化とへ進む農地が増加している
- ・中山間地域直接支払交付金などにより、農地は守られているが次期対策に継続されるか疑問
- ・農振農用地から除外すれば草刈りなど農地として維持する義務が解除されるとの誤解がある

○農地の荒廃を防止する明快な対策はあるのか

- ・中山間地への支払い交付金や多面的機能への交付金を活用しながら、加えて地域の話し合いが必要
- ・具体的には人・農地プランをベースにした地位での話し合いが重要

4 活動結果

- 情報・意見交換 **1.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援